

2023
秀作

第21回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール

ドラマから見えた妊婦の現実

神奈川県・神奈川県立柏陽高等学校 2年 土井 まゆ香

私の将来の夢は病院で働くことです。そのきっかけとして挙げられるのは、小さい時から夢中で見ていた数々の医療ドラマです。その中でも特に印象に残っているのは、ある産婦人科医が主人公のドラマです。そのドラマでは、様々な問題を抱えた妊婦の出産に向き合う産婦人科医を中心とした医療従事者たちの葛藤が描かれています。

そのドラマの中で特に印象に残っているのは、出産を終えたばかりの妊婦が突然病院から脱走してしまうシーンです。その妊婦は駆け付けた産婦人科医にこう言います。

「私、あの子いらない。」

その妊婦はシングルマザーで、パートナー・両親ともに連絡を取ることができず、経済的にも厳しかったためインターネットカフェで生活している状況でした。そのため入院費用もこれから子供を育てるためのお金もなかったために、病院から逃げ出してしまったのです。

このような状況に置かれている妊婦は、ドラマの世界だけでなく現実世界にも多くいます。「出産後の養育について出産前において支援を行うことが特に必要と認められる妊婦」のことを「特定妊婦」と呼ぶことが、児童福祉法に定義されています¹⁾。厚生労働省の調査によると、特定妊婦の数は2019年時点で8,253人に上ります。この数は10年間で8倍に増えたことを表します²⁾。特定妊婦となる原因として、貧困や障害による育児困難、DVや若年妊娠などが挙げられます。特定妊婦に登録されると、保健師などによる家庭訪問や生活保護申請への同行、産前・産後の支援から就労支援などの様々な支援を受けることができます。しかし、支援が必要な人が必ずしも特定妊婦に登録されているわけではありません。親からネグレクトを受けていて、困ったことがあっても助けてもらった経験がないなど、誰かに頼るといふ経験がないために頼り方が分か

らず、支援を受けられていない人もいます³⁾。私がドラマで見た妊婦も、幼いころから親から言葉の暴力を受けて育っていたため、支援の受け方を知らない状況でした。また、自分だけの責任でないにもかかわらず、妊娠したのは自己責任と自分を責めてしまう人も少なくありません。その結果、孤立出産や心中にまで至るケースもあります⁴⁾。

このような妊婦たちを救う、もしくは減らすために必要なことは何だと思いますか。支援をもっと充実させることでしょうか。確かにそれはとても大切なことで、実際に妊婦と面談を行うことで支援が必要か判断し、支援を受ける手助けをしている病院や、より良い支援体制を整えようと活動する団体もあります。しかし、どれだけ支援を充実させたところで、その支援を受けたくても受けられていない妊婦が多いのが現実です。そこで私は、どんな人が、どうすれば、どのような支援を受けられるのかを妊婦に限らず、すべての人に知ってもらうことが必要だと思います。現状として、特定妊婦という言葉自体あまり知られておらず、実際に私の母に特定妊婦という言葉を知っているか聞いたところ、知らないと答えたので、出産を経験している人にもあまり知られていないのだとショックを受けました。そのような情報をすべての人が知ることで、支援団体を身近に感じることができ、頼り方が分からず支援を受けられていなかった妊婦でも、相談しやすくなり支援を受けやすくなると思います。

では、そのような知識や情報をすべての人が知るためにはどうすればよいのでしょうか。現代にはSNSなどの身近に情報を得られるツールがたくさんあります。支援団体や政府がそれらを使って情報を発信することで、多くの人目に触れることができるようになります。そうなればテレビなどのメディアがその情報を取り上げてくれるかもしれません。しかし、それだとSNSを利用できる人、もしくはテレビを見ることができている状況にある人しか情報を得られないこととなります。特定妊婦の中には貧困に苦しむ方が多くいるので、そのような環境に恵まれない方も多くいると考えられます。第三者が情報を知っていても、当事者が情報を知らなかったら元も子もありません。そのような人でも情報を得るために、私は学校で、特に義務教育として情報を得られるようにすべきだと思います。私は小・中学校でこのような情報を教わらなかったし、もし義務教育としてすべての人が教わっていたら、支援を受けられずに苦しむ

人が格段に減少すると思います。

これらの問題はとてもデリケートな問題です。その妊婦の気持ちや状況はその妊婦自身にしか分からないし、分かってとして下手に近づこうとすると、その妊婦を傷つけてしまいかねません。ましてや男性は当事者にもなれないため、理解に時間がかかるかもしれません。それでも、その人の立場になって、知識をしっかりと身につけたうえで理解していくことで、たくさんの人を救うことができるし、そのような世界になればいいなと私は思います。

(注)

- 1) 3) 4) NHK「クローズアップ現代」取材ノート 「『特定妊婦』とは？登録で受けられる支援は？ 深刻な“孤立”状態も」
URL <https://www.nhk.jp/p/gendai/ts/R7Y6NGLJ6G/blog/bl/pkEldmVQ6R/bp/p76vRq4Zo7/>
閲覧日 2023年8月22日
- 2) NHK「クローズアップ現代」2022年6月28日(火)「孤立する母子を救えるか 増加する“特定妊婦”」
URL <https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4680/>
閲覧日 2023年8月22日

